

# JET 通信

第111号 2025年4月15日

発行：学校法人 JET 日本語学校 / JET 日本語学校後援会

## 12月の日本語能力試験(JLPT)結果

### 2024年度のN1合格28名に

| N1 校内ベスト5 (180点満点) |     |                    |     |     |
|--------------------|-----|--------------------|-----|-----|
| 順位                 | クラス | 氏名                 | 出身  | 得点  |
| 1                  | C   | 關 竣 然              | 香 港 | 166 |
| 2                  | B   | 韓 檀 悦              | 韓 国 | 160 |
| 3                  | C   | 楊 詠 鋒              | 香 港 | 157 |
| 4                  | C   | Sivanart Thachapol | タ イ | 155 |
| 5                  | C   | 劉 宸 維              | 台 湾 | 154 |

12月1日実施の JLPT の結果が発表されました。JET からは、N1 から N3 まで合計 79 名が受験しました。

N1 では 33 名中 13 名が合格。關竣然さん(香港)が校内最高の 166 点でした。校内平均点は 101.5 点で、国内外全体の平均 87.2 点を 14.3 点上回りました。2024 年度の N1 合格者は、7 月の試験の合格者数と合わせて、のべ 28 名となりました。

また、N2 では文旨宏さん(香港・E クラス)が校内トップの 174 点をマークしました。31 名が受験し、15 名が合格しました。校内平均点は 95.2 点でした。国内外平均は 84.5 点でした。

なお、国内外全体の合格率は、N1 が 28.7%、N2 が 33.1%でした。

## 11月の日本留学試験(EJU)結果

### 世界平均を 45.1 点上回る

| 「日本語」校内ベスト5 (400点満点) |     |                             |        |     |
|----------------------|-----|-----------------------------|--------|-----|
| 順位                   | クラス | 氏名                          | 出身     | 得点  |
| 1                    | A   | Cheah Jing Le               | マレーシア  | 358 |
| 2                    | C   | 鄭 棋 軒                       | 台 湾    | 352 |
| 3                    | A   | Kakikawa Sena               | タ イ    | 351 |
| 4                    | A   | Lilian Angelica Chandra Tan | インドネシア | 350 |
| 5                    | A   | Lwee Xiao Yu Evelyn         | マレーシア  | 348 |
|                      | A   | Devina Natalia Kristin      | インドネシア |     |

11月10日に実施された EJU の結果が発表されました。国内外の総受験者数は 21,610 名。校内から 25 名(うち進学クラス 22 名)が試験に挑み、Cheah Jing Le さん(マレーシア)が「日本語」で 358 点を獲得しました。進学クラスの平均点は 284.8 点で、全受験者の平均 239.7 点を 45.1 ポイント上回りました。1 年前に初級クラスだった Lilian Angelica Chandra Tan さん(インドネシア)は、6 月の EJU から 70 点も得点を伸ばしました。

分野別では、「読解」(200 点満点)で、Lwee Xiao Yu Evelyn さん(マレーシア)と Fang Xin Hui さん(同・A クラス)が世界最高の 198 点をマークしました。

## 卒業式 65 名が修了

3月7日、卒業式が行われ、65 名(進学科 28 名、基礎科 37 名)に修了証書が授与されました。卒業生代表の挨拶は、A クラスの葉曉蓉さん(台湾)が務めました。

## 皆勤賞 3 名

卒業式では、皆勤賞の表彰も行われました。進学科 1 年皆勤だった張雋彦さん(マカオ)、基礎科 1.5 年の Yudhistira Juanditto Bya さん(インドネシア)、基礎科 1 年の張睿明さん(台湾)の 3 名。後援会から図書カードが贈られました。

## 国公立大合格 7 名

### 進学者数は 38 名に

2024 年度、一橋大学大学院、東京科学大学大学院、東京外国語大学など、国公立大学・大学院にのべ 7 名が合格しました。全合格数(入学辞退を含む)は 53 名です。進学者数は 38 名にのぼり、進学先別では、大学院 5 名、大学 22 名、短期大学 1 名、専門学校 10 名でした。

## 卒業後の就職状況

2024 年度修了生 82 名(9 月 16 名、3 月 66 名)のうち、3 月 31 日現在、10 名が国内で就職の内定を得ています。業種は、物流、IT 関連、人材サービス、不動産関連などです。

この他に、卒業後に就職活動のための特定活動ビザ取得予定者が 4 名おり、内定者はさらに増える見込みです。

なお、2023 年度修了生の国内就職内定者は、13 名となりました。

# 祝 合 格

## 大学院

✳️国立東京科学大学大学院 物質理工学院 材料系材料コース 修士課程 (台湾) ✳️国立一橋大学大学院 経営管理研究科 経営管理専攻 経営学修士コース 修士課程 (台湾) ✳️国立東北大学大学院 生命科学研究科 生態発生適応科学専攻 流域生態分野 学部研究生 (インドネシア) ✳️公立はこだて未来大学大学院 システム情報科学研究科 博士前期課程 (マレーシア) ✳️青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 マネジメントテクノロジーコース 博士前期課程 (台湾)

## 大学

✳️国立茨城大学 人文社会科学部 現代社会学科 (マレーシア) ✳️国立東京外国語大学 国際日本学部 国際日本学科 (マレーシア) ✳️横浜市立大学 国際商学部 国際商学科 (タイ) ✳️足利大学 工学部 創生工学科 機械分野 (インドネシア) ✳️大阪芸術大学 キャラクター造形学部 アニメーションコース (マレーシア) ✳️大阪成蹊大学 芸術学部 アニメーション・キャラクターデザインコース (マレーシア) ✳️関西大学 商学部 商学科 (香港) ✳️京都外国語大学 外国語学部 日本語学科 (マレーシア) ✳️京都外国語大学 外国語学部 日本語学科 (マレーシア) ✳️京都精華大学 マンガ学部 アニメーション学科 アニメーションコース (マレーシア) ✳️京都精華大学 マンガ学部 マンガ学科 キャラクターデザインコース (マレーシア) ✳️尚美学園大学 芸術情報学部 音楽表現学科 (香港) ✳️拓殖大学 商学部 経営学科 (インドネシア) ✳️拓殖大学 政経学部 経済学科 (台湾) ✳️拓殖大学 商学部 経営学科 (台湾) ✳️拓殖大学 政経学部 経済学科 (台湾) ✳️中央大学 商学部 国際マーケティング学科 (タイ) ✳️帝京大学 文学部 心理学科 (マレーシア) ✳️東海大学 工学部 航空宇

宙学科 航空宇宙学専攻 (台湾) ✳️東海大学 情報理工学部 情報科学科 (インドネシア) ✳️東海大学 海洋学部 海洋理工学科 海洋理工学専攻 (インドネシア) ✳️東海大学 文学部 英語文化コミュニケーション学科 (台湾) ✳️東京造形大学 造形学部 デザイン学科 アニメーション専攻領域 (マレーシア) ✳️東洋大学 文学部 英米文学科 (台湾) ✳️日本大学 理工学部 航空宇宙工学科 (台湾) ✳️日本大学 文理学部 心理学科 (マレーシア) ✳️開志専門職大学 アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科 (マレーシア) ✳️松本歯科大学 (台湾) ✳️明治大学 商学部 商学科 (タイ) ✳️近畿大学 経済学部 経済学科 (台湾) ✳️東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康科 (インドネシア) ✳️東京農業大学 農学部 農学科 (インドネシア) ✳️日本女子大学 食科学部 栄養学科 (インドネシア) ✳️立命館大学 経営学部 経営学科 (タイ) ✳️立命館大学 国際関係学部 国際関係学科 国際関係学専攻 (マカオ)

## 短期大学・専門学校

✳️国際短期大学 国際コミュニケーション学科 (香港) ✳️HAL 東京 ミュージック学科 (マレーシア) ✳️ICS カレッジオブアーツ インテリアアーキテクチャ&デザイン科 (台湾) ✳️TES 東京英語専門学校 英語専門本科 英会話専攻 (香港) ✳️専門学校東京ホスピタリティ・アカデミー 観光ビジネス学科 ビジネス日本語コース (台湾) ✳️東京スクールオブミュージック専門学校渋谷 音楽テクノロジー科 舞台制作&ステージ演出専攻 (台湾) ✳️東京日建工科専門学校 建築 CAD ビジネス科 (マカオ) ✳️文化服装学院 服飾専門課程 服装科 (台湾) ✳️尚美ミュージックカレッジ専門学校 ヴォーカル学科 ヴォーカル専攻 (タイ) ✳️東京製菓学校 製菓専門課程 和菓子本科 (インドネシア) ✳️東放学園専門学校 テレビ美術科 (マカオ) ✳️ハリウッド美容専門学校 総合美容科 ビューティーキャリアコース (香港) ✳️ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 宝石専門課程 ジュエリープロダクトコース (台湾)

## 2025 年度の奨学生決まる

2025 年度高山国際教育財団の奨学生に、台湾の劉宸維さんと張珈嫻さん、インドネシアの Andrew Anderson Thio さんと Theresa Gracelynn Tedjaseputeri さんの 4 名が決まりました。JASSO 学習奨励費予約制度(大学進学後の 1 年間受給)の奨学生には、JET から推薦した 4 名を含む 6 名の受給が決まりました。

## 「堀江奨学金」受給者第 1 号

JET 日本語学校後援会からの特別奨学金「堀江奨学金」が、今年 4 月入学の劉宸均さん(台湾)に初めて支給されました。給付額は 1 年分の学費相当額です。

堀江奨学金は、金美鈴名誉理事長の友人、堀江渥子さんからの後援会寄付金を原資とします。堀江さんの希望により、教育を志す台湾からの留学生を支援してゆきます。

## 学 校 日 誌 ①

- 1 月 10 日 A クラスでビブリオバトル 読んでみたい本の 1 位は、Lwee Xiao Yu Evelyn さん推薦の西加奈子『夜が明ける』
- 1 月 10 日、17 日、22 日、29 日 防災体験(北区防災センター)
- 1 月 14 日～3 月 14 日 高知県の技能実習生へのオンラインレッスン 2 クラス 6 名
- 1 月 16 日 進路説明会(大学院、専門学校、就職)
- 1 月 17 日 茶道体験
- 1 月 23 日 進路説明会(学部)
- 1 月 26 日 高田馬場管絃楽団演奏会(於・北とびあ) 5 名参加
- 2 月 1 日 H.I.S.のモニターツアー 茨城県常陸大宮の竹あかりイベント「DORAGON BANBOO」に 3 名参加
- 2 月 3 日 校内で節分豆まき
- 2 月 3 日 日本事情の授業で、国会議事堂と国立国会図書館を見学 20 名が参加
- 2 月 4 日 2025 年度進学科学生対象ガイダンス
- 2 月 6 日 進学科卒業試験(英語)

## そして読書はつづく ～私の読書遍歴～

Lee Li Xuan (マレーシア・2025 年卒)

「人生は旅だというのが、確かにそんな気もする。自分の体を機関車に喩えるなら、この車窓は存外面白い。」

ああ、何回読んでも、やはり良い文だな。と、こっそり思いながら本を閉じて、現実に戻った。



この文章を書くにあたって、自分が好きな一冊、星野源さんの『いのちの車窓から』に収録されているエッセイを参考にした。文章の流れ、言葉の選び方、物事の描写、星野さんはそのすべてを素晴らしく仕上げていて、繰り返し読んでもたまらない。このような感覚を与えてくれる本に出会ったのはいつ以来だろうか。記憶を手繰ると、はっと乙一さんの『ZOO』を思い浮かべた。

それも良い一冊だったな。読書って、なんて素敵なことなのだろう。

本を読むのが好きだ。子供の頃、家に大きな本棚があった。その本棚に綺麗に並んだ子供向けの短編集を初めて手に取り、ページをめくるにつれてその物語の世界に吸い込まれるような感覚は、今でも鮮明に覚えている。イーニッド・ブライトンさんが作ったメルヘンチックな物語は幼い私の心の中に、読書好きという種をひっそりと植えた。

時を経て、その種はつぼみになり、読書歴を積み重ねるうちに、やがていくつかの花が咲いた。

その花々の中で一番好きなのは、乙一である。

ジャンルを問わず、幅広い物語を書く乙一さん。その乙一さんの作品に触れたのは 11 歳の頃だった。兄の机の上に置いてあった『GOTH』(原作名: ゴス) というホラーミステリー小説を見かけ、好奇心に駆り立てられ読み始めた。ホラーは苦手だが、淡々とした文体を通して不気味な雰囲気を引き出すと同時に、人の歪みというひねくれた美しさを表現していて、読めば読むほど本を手放すことができなくなった。

一度味わったら最後、その日から飢えた獣になったかのように、『GOTH』が与えてくれたその快感への欲求を満たすため、他に『GOTH』に似ている本はないかと読書好きな兄に尋ねた。

兄のすすめで、翻訳版だけれども、日本文学の世界へ足を踏み入れた。乙一を始め、東野圭吾、島田荘司、湊かなえなどミステリー系小説家の本を読み始めた。それだけではなく、時折面白そうなライトノベルも読んだ。その魅力を説明するのは今でも難しいのだが、日本文学の独特な情緒や季節感が好きになった。

2024 年 4 月、留学のために日本へ来た。

来日してからも、読書が続いた。やっと好きな日本人作家の本を原文で読めるようになったと思いつつ、古本屋さんで乙一の本を何冊も買った。しかし、いきなり日本語で本を読むのは相当なチャレンジだった。知らない語彙や文法は盛り沢山。慣れない言語ゆえに、読むスピードも母語の本と比べて遅い。短編一篇を読み終えるのに 2 か月必要な時も

あった。

それでも、実際に日本語で日本人作家の本を読むと、その作者の魂を覗いているようで、本来の意図をそのまま読んでいる感覚はまた新鮮だった。楽しい。難しいけれども、やはり読書は楽しい。読書への愛情は再び心の底から湧いてきた。

好きな作者とはいえ、永遠に乙一作品だけを読むわけにはいかないとわかっている。何か新しい本か作者を探そうと思っていた時期に、星野源という人に出会った。彼の歌を聴いてみると、歌詞が非常に素晴らしいと思った。そこで、彼は音楽家と俳優だけではなく、執筆家でもあったことを知った。こんな素敵な歌詞を書く人の本は絶対面白い、そうに違いない。そんな妙な確信で、彼のエッセイ集、『いのちの車窓から』を手に入れ、夏休みにゆっくり読もうと思った。

この本は、自分の想像よりはるかに良かった。

有名人というのは、普通の人間がたどり着かない場所に立っている。当時の私はそう思っていた。しかし、星野さんのエッセイを読んでも、彼は私たちと同じ普通の人間としか感じられない。色々なエピソードを読んで笑ったり感動したり、考えさせられたりもした。ご本人は「共感はいらない」と言っているが、共感せずにいらなかった。

形もはっきりとしない夢、とにかく日本で何かを成し遂げたいという夢を抱きながら、日本に来た。一人で、遙々母国マレーシアからこの不慣れた土地に。漠然とした気持ちで、わからないまま日々を送るのは実に孤独だ。星野さんとは全く違う経験だとわかっているが、下積み時代の星野さんの経験談に強く共感でき、この先の道はどんなに辛くても、歩み続けられる勇気ももらった。

『いのちの車窓から』は私にとって、人生を変えた一冊だ。

なので、2024 年 9 月 30 日に発売された『いのちの車窓から 2』は、EC サイトから事前に買って家まで発送してもらおう選択肢があったにもかかわらず、発売当日に本屋に足を運び、自分の手で買い求めた。そして、帰りの電車で読み始めたのだ。

「未来も自由も、この一つのいのちの中にある。そんな当たり前の中に、私は立っている。」

この言葉はどれほど私を救ったことか、ご本人は永遠に知る由もないだろう。そう思いながら、そっと目を閉じた。

文字は魔法である。ただ紙の上に印刷されたものだが、文字が繋がれば言葉になる。言葉は誰かを楽しませる、悲しませる、考えさせる、そして傷付けることすらできる。私は読書を通してこの「言葉の力」を知った。もし私がこのメッセージを世界の人々に届けられたら、それはどれだけ素敵なことだろうと妄想した。

先ほど語った私の夢だが、この文章を書く少し前まではもやもやしていたのだが、今は何となく形が見えてきたと思う。不可能に聞こえるかもしれないけれど、やってみないとわからない。

『いのちの車窓から』を翻訳したい。そして、星野源さんの言葉の力を是非、より多くの人へ送りたいのだ。それが今の私の夢である。



## 「深い学び」を目指して

東京都立大学 人文科学研究科 博士前期課程修了

鄭 宇傑 (台湾・2022 年卒)

筆者の夢は、言語教師として教育の現場に立ち、学習者の学びを支えることです。そのため、JET の授業に参加していた際には、常に JET の先生たちの授業の様子を注意深く観察し、特に教師がどのように発問を活用している



かに着目してきました。学習者が積極的に考え、深く理解するような問いかけが、どのように学びに影響を与えるのかを現場から学びたいと強く感じたからです。

大学院で日本語教育に関する先行研究を読む中で、近年の教育現場では、単なる知識の習得にとどまらず、学習者自身が自ら考え、気づきを得る「深い学び」が強く求められていることを知りました。こうした「深い学び」を育成するための手段の一つとして、「思考を深める発問」の重要性が指摘されています。発問とは、教師が学習者に問いを投げかけることで、認知的探究を促し、主体的・批判的な思考を引き出す教育的行為です。特に WHY 型や HOW 型の発問は、学習者に思考の幅を広げる機会を与え、自分の考えを深めるきっかけになります。

特に筆者が注目したのは、日本語教師という職業の特性です。日本語教師は言語教育の専門家であり、多様なバックグラウンドを持つ留学生たちに共通する「言語」というツールを教えています。彼らが進学・就職を目指す分野においては、むしろ学生の方が深い知識を持っている場合も多いです。したがって、教師がすべての専

門知識を提供することは困難であり、それよりも、学習者が自分の関心や専門性に応じて主体的に考え、知識を構築できるような環境を整えることが必要だと考えるようになりました。そのために、教師の発問力が極めて重要であると実感しました。

筆者の研究では、教師の経験年数が発問の設計や評価に与える影響に注目し、熟練教師と初任教師の教育観と発問評価の違いを明らかにすることを目的としました。研究では、インタビューと授業動画を活用した評価調査を実施し、熟練教師は WHY 型や HOW 型などの開かれた発問を用いて、学習者の反応を見ながら授業を調整する柔軟性を持っている一方で、初任教師は即時的な反応や知識確認に重点を置く傾向が強いことが分かりました。また、初任教師の中には「学習者の主体性を育てたい」と考えながらも、実際の授業では「反応のしやすさ」や「短期的な成果」を重視してしまう矛盾も見られました。

こうした結果から、言語教師の発問力は学習者の学びの質と深さに直結する極めて重要な要素であると改めて認識しました。発問の質を高めるためには、経験に基づいた判断力と教育観が必要であり、それらは教師個人の成長だけでなく、体系的な研修や実践的な指導を通じて養成されるべきだと考えます。

筆者自身も、将来的に言語教育の現場に立つ者として、発問を通じて学習者の思考を支援し、「深い学び」を実現する授業づくりを目指しています。今後も、教育実践と研究の両面から、学習者中心の教育の在り方について探究を続けていきたいと考えています。

## 4 月生 54 名入学 新学期開始

4 月期、新入生を 54 名迎えました。国籍は台湾、マレーシア、インドネシア、タイ、香港、マカオ、韓国、アメリカ、イギリス、コスタリカ、ポーランドと、11 の国・地域に及びます。

1 日にクラス分けテスト、2 日に入学式、オリエンテーション、歓迎会を行い、4 日から 131 名、7 クラスで授業がスタートしました。

### 新任教師 4 名

4 月から新任教師 4 名が加わりました。日本語の平岡美乃里(ひらおかみのり)先生と比留間淑恵(ひるまよしえ)先生、数学の山上博久(やまがみひろひさ)先生、物理の滝沢雄一郎(たきざわゆういちろう)先生です。平岡先生は進学クラスで英語の授業も担当します。



↑ 入学式では、在校生たちからも歓迎の言葉がありました。半年前の新入生も、立派な日本語ですっかり先輩らしくなりました。

## クラスメートに救われた受験生活

一橋大学大学院修士課程在籍

葉 曉蓉 (台湾・2025 年卒)

昨年 4 月の入学式の記憶はまだ鮮明に残っているのに、いつの間にかお別れの時期になりました。この 1 年間で振り返ると、期待・興奮・喜びがあり、また後悔・失望・悲しみの時もありました。自分がどこまで行けるのか、不安になることも少なからずありました。進路についての疑問や悩みを相談したとき、先生方は時間を割いて丁寧に対応してくださいました。大学院の研究計画書から面接練習まで、ご指導して下さったことに大変感謝いたします。そして、A クラスの皆さんは聞き飽きているかもしれませんが、JET 日本語学校に来て、皆さんに出会えて心からよかったと思います。



私は JET に入学する前に、自分のやりたいことがばんやりしていて、何を研究したいのかまだはっきりしておらず、専門知識も不十分でした。そして、私の専攻は会計ですが、日本と台湾で使われている会計システムが異なるため、参考書を買って、ほぼゼロから勉強しなければいけませんでした。不安を抱きながら私は、大学院の教授にメールを送りましたが、残念なことに、第一志望の研究室は、今年は修士課程の募集がないということで、早々に断られてしまいました。全てのことが必ずしも思うように進まないことは知っていますが、それでも私に大きい失望感を与えました。その後の 1 か月間、私は焦りのあまり、いくつもの大学院の教授にメールを送りまくりました。

受験準備の際は、会計の専門用語を暗記するのに特に苦労しました。忘れないように家のテーブルの前にも、学校の机にも付箋を貼り付けて、覚えることに必死でした。ところが、受験は残酷なものでした。クラス内で一番早く出願し、一番早く受験したのに、合格の朗報もたらず、志望していた学校は落ちました。担任の木村先生に報告するのも怖かったです。2024 年は私にとっ

てどん底だった 1 年とも言えるくらい、今までで最も辛い時期でした。自分を責めることもありました。クラスでは年上なので、凹んでも表に出さないようにしましたが、クラスメートは私の変化に気づいてくれていました。皆自分のことで精一杯のはずなのに、私を励ましてくれたその優しさに、どれほど救われたかわかりません。放課後に共に勉強したこと、昼ごはんを食べながら笑い合ったこと、夢や目標を語り合ったこと、合格したことを知って泣きながら抱きしめあったこと、ひとつひとつがかけがえのない瞬間となり、いつの間にか私の宝物となりました。

海外での受験という経験を経て、私が出たものは単なる学力だけではありません。それは困難に立ち向かう強さ、仲間と支え合う大切さ、そして諦めない気持ちです。

この場を借りて、後輩の皆さんに伝えたいことがあります。日本語を勉強し始めたばかりの人もいるでしょう。また、進学しようかどうか悩んでいる人もいるかもしれません。私は、そのように真剣に考えること自体、とても素晴らしいことだと思います。しかし、忘れないでほしいのですが、受験にしても、就職にしても、両方とも決して簡単な道ではありません。挫折や不安に呑み込まれて、眠れない日もよくあります。それぞれ細かいことがこのような時にプレッシャーになります。ですから、クラスでも日本語や各方面で、自分より優れている人がいるとしても、周りとは比べないでください。障壁が目の前にあっても、焦らないでください。自分のペースで成長することが大切だと思うからです。

そして、最も基本的で、最も大切なのは、母国語が同じでも友達と日本語で話すことです。日頃の練習を積み重ねれば、知らず知らずのうちに日本語能力が体に刷り込まれていくと思います。JET で一人でも多く「日本語友達」をつくり、支え合いながら、困難を乗り越え、目標に向かって頑張ってください。

(3 月 7 日の卒業生代表挨拶より抜粋、加筆修正)

### 学 校 日 誌 ②

- 2 月 6 日～11 日 「第 20 回国際交流冬のつどい」(主催:北海道国際交流センター) 函館でスキー体験など 2 名参加
- 2 月 7 日 進学科卒業試験(日本語)
- 2 月 7 日 理事会・評議員会 金美齡名誉理事長の 91 歳誕生日のお祝い
- 2 月 9 日 両国国技館で大相撲トーナメント(主催:フジテレビ)を観戦 16 名参加
- 2 月 14 日～20 日 期末試験
- 2 月 22 日 板橋区立グリーンホールで開催された「第 24 回日本語スピーチ大会と日本舞踊体験」(主催:板橋区文化・国際交流

- 財団) 黄焯鈴さん(香港)と Lee Li Xuan さん(マレーシア)が出演
- 2 月 24 日～28 日 釧路の民泊に宿泊し、バナナボートでの雪滑りなど体験(主催:共立国際交流奨学財団) 3 名参加
- 2 月 25 日 北区日本語教室 フォローアップ授業開始
- 2 月 25 日～3 月 14 日 順天高校(北区)の「校内探求コンテスト」に協力参加 文通と交流会
- 2 月 25 日 漢字クラスの期末試験 8 名が満点
- 3 月 3 日 第 1 回大展示会(於・ハイレイフプラザ板橋) 19 組の学生が写真や絵、書などを出展したほか、日本事情「エチュード」のクラスによる演劇の発表、滝野川警察署による防犯についての講座、締めくくりは井上専務理事による講演「JET 日本語学校 37 年の歴史 ～言葉が切り拓く未来～」

## 世界平和のため？

井上 靖夫（専務理事）

今年の入学式でも越野理事長は、新入生を前にこう語った。「私たちの日本語教育の究極の目的は世界平和だ」と。世界平和？ 何を大仰な！ たかが語学学校ではないか。学生たちの心の中からそんな声が聞こえた気がするので、ここできちんと補足しておきたい。

**「世界平和を達成するためには人と人との交流が最も有効である」**

これは、あの有名なフルブライト奨学金制度の信念だ。創設者は米国の上院議員だった J.ウィリアム・フルブライト氏。第二次世界大戦後、米国と諸外国との相互理解を目的とする人物交流事業として発足し、様々な分野のリーダー育成に大きな役割を果たしてきた。これまで日本を含む 160 か国以上、40 万人を超える人々に奨学金を授与してきたという。

フルブライト氏のメッセージは、JET の理念である「日本のよき理解者育成」「留学生の全人的な成長」にも通じる。

教育交流は、「国家を人々に変える」、すなわち国際関係を人間的にすることができます。それは他のどんなコミュニケーション手段でもできないことです。私は教育交流が人々の間に必ず友好的な感情をもたらすものだとは思いませんし、またそれを目的とすべきだとは思いません。ただ、人間として共通の感情を喚起できること、言いかえれば、他の国々に自分達が恐れる教条があると理解するのではなく、自分達の国で育った人々と同じように喜びや悲しみ、残酷さや優しさを共感できる人々が住んでいる、ということが実感できれば充分だと考えます。（日米教育委員会ホームページより）

世界が自国第一主義に傾いてゆく昨今、留学生交流の大切さを改めて考えさせてくれる言葉だ。

小さな語学学校のひとつにすぎない JET、潤沢な奨学資金があるわけでもない JET だが、37 年にわたり日本語教育を通じて有為の若者を育ててきたと自負している。

この春大学などに進学した JET の卒業生たち、そして進学や就職をめざして JET で日本語を学ぶ学生たちは、いま自分がなすべきことをよく考え、行動し、一層の成長を遂げていってほしい。

## 学 校 日 誌 ③

- 3月7日 卒業式
- 3月10日～28日 2025 年度進学科学生対象に春の特別授業と補講
- 3月11日 特定活動(就職活動)ビザ希望者対象ガイダンス
- 3月20日 ヒップファミリークラブ主催の多言語プレゼン大会で権容熙さん(韓国)が審査員特別賞（於・太田区民ホール）
- 3月25日 H.I.S.のモニターツアー 新潟県柏崎の田舎体験と温泉旅行に6名参加
- 3月26日 実践報告会 阪本麻子先生、永田基子先生、石井豊彦先生(数学)が発表
- 4月1日 クラス分けテスト
- 4月2日 入学式 オリエンテーション 新入生歓迎会
- 4月4日 漢字クラス分けテスト

### 後援会会費納入のお願い

JET 日本語学校後援会は奨学金・学習奨励金の給付等、本校で学ぶ学生達を支援しています。また、遠足などの補助金は、後援会からの支出によるものです。

2024 年度は、のべ 12 の個人・団体から 270,600 円のご支援をいただきました。本校の教育事業にご賛同いただける方は、会費を納入していただければ幸いです。

★★★

年会費：3000 円 賛助会費(一口)：2000 円

郵便為替口座:00140-1-101927

JET 日本語学校後援会

★★★

海外からのお振込みの場合は手数料のかからない決済代行サービス flywire をご利用いただけます。

<https://www.flywire.com/pay/jet-academy/>

### ◆編集メモ◆

今号より紙面を刷新しました。

学生・卒業生からの寄稿文に紙面を割り、「読み応えのあるニュースレター」を目指します。

JET での学びがどのようなかたちで成長をもたらしたかや、学生たちの努力の成果などを中心に、広く取材し、深く掘り下げてゆきます。

行事や出来事、さまざまな活動の様子は、ホームページやフェイスブックなどの SNS でも随時お知らせしますので、併せてご覧ください。



ホームページ

<https://jet.ac.jp/>